

医療法人 友仁会 ステージⅡ

機能充実にむけて

Y (やさしい) U (ユニーク) J (受容する) I (医療と) N (ニーズに合った) K (介護で) A (愛と) I (生きがい)
YUJINKAI プロジェクトで充実した医療と介護の提供を目指します。

Y

(やさしい)

医療、とくに高齢者においては、身体にやさしい医療が求められています。手術においても回復しやすい負担の少ない医療を行います。それには、高度な技術と最新の機器や遺伝子などの検査により、身体にあった医療を目指します。

【低侵襲医療の実践】

- ①消化器内視鏡治療
- ②鏡視下手術
- ③運動器症候群
- ④透析
- ⑤予防医学の徹底
- ⑥遺伝子検査による薬剤(抗がん剤)の選択

U

(ユニーク)

病院では、いろいろな病気の人を診察しますが、特色をもった他の病院に負けない優れた機能を持つことが必要です。本院では、消化器内視鏡センターを中心に、従来の実績をさらに発展、充実する最新の診断と治療を行います。

【消化器内視鏡センター機能向上】

- ①専門医の増員
- ②若手医師の育成と臨床研究
- ③消化器内視鏡検査技師の育成

J

(受容する)

医療は患者さんと共にあり、患者さんから納得の上で行うものである基本に立って、十分な説明と同意を得て、最適な治療法を選びます。

【インフォームド・コンセントの徹底】

- ①医師・メディカルスタッフ等、職員の研修
- ②地域の方々とスタッフの意識の共有

I

(医療)

医師とメディカルスタッフがチームで一体となって、最良の医療を提供します。

【チーム医療の実践】

- ①医師・メディカルスタッフ、職員によるチーム医療

N

(ニーズ)

医療は診断から始まり治療(手術を含む)で終わりますが、身体の機能は、特に高齢者においては回復に時間がかかります。ニーズに合った機能回復に早期から取り組み、在宅医療につなげます。

【医療・介護・看取りの連続性】

- ①身体機能、経済的背景などを考慮した最適な方向性
- ②訪問看護師の質向上による在宅看取り
- ③地域医師会との連携
- ④ソーシャルワーカーの配置

K

(介護)

高齢者において、脳出血、脳梗塞などで機能回復が不十分な場合には、リハビリテーションにより機能低下を防ぐように努めます。

【機能回復への道】

- ①リハビリテーションの充実
- ②地域介護施設との連携

A

(愛)

医療や介護にはメディカルスタッフや家族の人達との愛が病気からの回復に求められます。

【愛情で支え、愛情による医療と介護】

- ①感謝する心の啓発
- ②全職員の接遇の研修

I

(生きがい)

医療と介護は患者さんに自律した自分で満足できる生きがいを提供する事を目標とします。

【前向きな取り組みを提供】

- ①ボランティアによる話し合い、音楽会や見学会などの開催